

「アビリティ実証都市研究会キックオフセミナー」のご案内

アビリティ実証都市研究会とは、身体及び認知機能や能力(アビリティ)の回復、維持、向上、改善など広く健康を目的とし、その研究や技術、療法、製品などの効果や事業性などを検証、また研究開発や事業化、普及拡大の支援を行うための地域クラスター(拠点整備等)と国際連携を検討するものです。

食や運動、姿勢、整体、癒し、睡眠、代替医療、統合医療、融合医療など、現代の西洋医療だけではない健康増進の様々な技術や知識をサービスや製品、事業の実証と事業化、また身体機能拡張のロボットや認知機能拡張のAIに、医療や代替医療などのナレッジも組み合わせ、研究や実証、開発、事業化の支援を市民協働、公民連携、医療連携、医工連携など、地域共創で推進します。

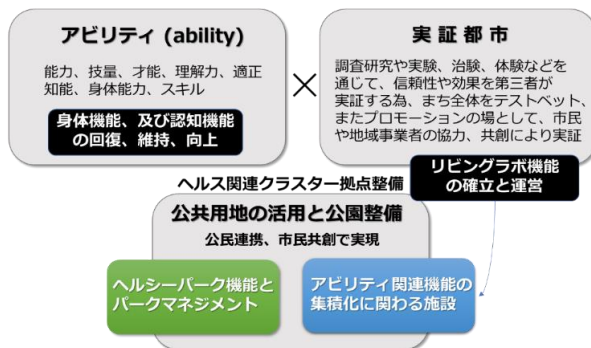
こうした領域は、エビデンス(科学的根拠)などの立証が未成熟であるもの、医療などの制度や法律により活用に制限が加えられているもの、文化などの違いにより海外では普及しているものの日本国内での普及が出来ていないもの、研究途中であり様々な領域の知見や実証を必要とするもの、広く社会に知られていない事などが多くあります。しかし、未病対策や予防、健康増進は健康寿命を延ばし、医療費や社会保障費の増大を軽減することに結び付くことから、近年、公的にもその研究や産業化に注目が集まりつつあります。

また、こうした領域の療法や製品は、異分野の複数の組み合わせや、西洋医療との組み合わせ(統合医療や融合医療)により、その効果が拡大しイノベーションの創出のほか、コストが軽減することも想定されます。

そのために国内外を含む広くオープンイノベーションの機会や実証する地域の協力や支援が重要となっており、国際連携や異分野の連携、地域との共創の環境を整備することが望まれています。

本研究会は、こうした連携の促進や環境整備を検討していくものです。また、その地域クラスターでの活動に伴い市民や地域内の就学就労者の健康寿命を延ばし、快適な市民生活や健康経営を実現するとともに、関連する研究機関や産業の誘致や創出、そして産業振興に結び付けていくためのリビングラボ機能や支援策なども検討していきます。泉大津市では、こうしたアビリティの実証都市としての取組みを積極的に行っており、今後、集積拠点の整備(市民会館等跡地活用)なども公民連携で進めています。

泉大津市の目指す都市経営戦略「アビリティ実証都市」



キックオフセミナーのテーマ

食と健康アビリティ

日時 平成31年1月15日(火曜日)13:00~17:10(予定)

会場 テクスピア大阪 4階 402会議室

泉大津市旭町22番45号 電話0725-31-4402

参加費 無料

定員 100名

対象 アビリティ関連事業者、研究者、企業、その他ご関心のある方

申込み 泉大津市都市政策部都市づくり政策課 E-mail matisei@city.izumiotsu.osaka.jp

担当 計画係 八木・中村 電話0725-33-1131

主催:泉大津市 共催:グローバルヘルスイニシアティブ

後援:近畿経済産業局、近畿農政局、大阪商工会議所、泉大津商工会議所

プログラム(予定) 司会進行 松原 拓也 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

●第1部 基調講演 (テーマ「食の機能と健康アビリティ」) (13:00~15:10)

- ・ご挨拶 「アビリティ実証都市の取組み(仮題)」 南出賢一 泉大津市長
- ・コーディネーター 「アビリティ実証都市研究会の考え方」 廣常啓一 株式会社新産業文化創出研究所
- ・話題提供 「健康、介護関連ロボットの国内外動向と健康ロボット研究について」 講師：本田 幸夫 氏
大阪工業大学 R&D工学部ロボット工学科 アクチュエータ研究室教授
大阪工業大学 ロボティクス&デザインセンターセンター長
厚生労働省老健局介護ロボット担当参与
日本医療研究開発機構ロボット介護機器開発・導入促進事業プロジェクトスーパーバイザー
- ・講演1 「食による予防医学と機能性おやつプロジェクト」 講師：矢澤一良氏
早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所 ヘルスフード科学部門 研究院教授
- ・講演2 「高齢社会における栄養の役割～健康寿命の延伸にむけて～」 講師：津田謹輔氏
帝塚山学院大学 学長 医学博士

●第2部 報告リレープレゼンテーション (15:20~17:10)

(テーマ「その他のアビリティ全般と実証都市、また国際連携実現に向けた支援策」発表)

- ・コーディネーター「アビリティ実証都市研究会の進め方とグローバルヘルス」 廣常啓一
- ・「認知症対策官民連携実証プロジェクトについて」 日村健二氏
経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 バイオ・医療機器技術振興課 課長補佐
- ・「SDGsとしての途上国の健康支援と企業の国際展開(仮題)」 戸田隆夫氏
独立行政法人 国際協力機構 上級審議役
- ・「ウエルネス産業振興(仮題)」 東潤一氏 大阪商工会議所 経済産業部ライフサイエンス振興担当課長
- ・「SDGsから見たインドの予防保健とICTプラットフォーム」 笹原英司氏
一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス理事 医薬学博士
- ・「神戸健康リサーチコンプレックスの進捗と展開」 堀洋氏
国立研究開発法人理化学研究所 健康生き活き羅針盤
リサーチコンプレックス推進プログラム 連携促進コーディネーター 理学博士
- ・「IoTによる睡眠の質を数値化(仮題)」 古川純一氏 ジャスト株式会社 代表取締役
- ・「大豆の生理効果(仮題)」 前淵元宏氏 不二製油株式会社 開発部門 企画室 博士(学術)
- ・「ガーナの栄養改善プロジェクトやベトナムの栄養制度創設とアビリティ実証(仮題)」 栗脇啓氏
公益財団法人味の素ファンデーション シニアアドバイザー
- ・「足の機能の重要性と支援技術としてのインソールの活用(仮題)」 那須 友和氏
ネイシュー株式会社 代表取締役
- ・「足の3D計測とデータ活用によるアビリティ支援(仮題)」 荒山元秀氏
株式会社ドリーム・ジーピー 代表取締役
- ・「昆虫食の健康とSDGsへの貢献」 松井崇氏 株式会社昆虫食のentomo 代表取締役
- ・「災害時における食用昆虫の有効活用」 松井欣也氏 東大阪大学短期大学部実践食物学科准教授
- ・「自転車を活用した健康アクティビティ(仮題)」 日本写真判定株式会社事業戦略部
- ・「オリジナルエクササイズ『笑とれっち』(仮題)」 松下いづみ氏
笑いヨガスタジオ主催 ラフターヨガ(笑いヨガ) ティーチャーストレッチトレーナー・健康管理士
- ・総括 石河 修 泉大津市立病院 病院事業管理者 大阪市立大学名誉教授

※報告順番は当日に変更になる場合がございます

※終了後に会場で、名刺交換会の若干の時間を用意しております。